

ひるまだより

vol.30
2009.11

医療法人社団トモニアム
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102 URL:http://www.hiruma.or.jp/

特集

ライターSのおしごとレポート①

「一番大事な仕事は信頼を得ること」

ひるま矯正歯科の歯科衛生士・千田幸恵さんにかがいました。
「歯科衛生士の仕事とは?」

一日の主な仕事は?

◆器具の掃除から始まり先生の治療中は器具の準備や歯のクリーニング、PMT Cなどといったアシスト。予防治療の予約が入っていれば1階で治療をします。

予防治療の内容は?

◆歯茎のチェック、歯周ポケットの深さ測定、磨き残りチェック、写真撮影、歯のクリーニング、フッ素塗布など状態を説明しながら行います。時間は約45〜60分。小児は30分。これ以上長いと患者さんも疲れて集中力がなくなってきます。

ひるま矯正歯科では各衛生士がメニューを決めます。言われたことだけをやるのと違い、自分自身で内

容を組み立てなければなら

ないし同じことばかりする訳にはいかない。毎年参加している酒田市でのセミナーの他、個人的にセミナーに参加し治療効率をあげ、治療技術を向上させる努力をしています。

一番大事な仕事は?

◆まず治療をきちんとできるのは当たり前で、今の口腔内の状態と良い状態について、さらに現状を改善するにはどんな治療が必要か、これらを患者さんに理解してもらえるように説明すること。患者さんからの質問にきちんと答えられること。それらができて初めて信頼関係が生まれます。その信頼関係がしっかりしていな

いと治療を続けていくのは

とても難しいですね。歯石取りに夢中になりすぎてとんとん前のめりに。患者さんに鼻がつきそうになったこともあったとか。楽しいお話しをありがたうございました。(S)

ヒルマヤスアキのホットとひと息

賢い歯医者者はデータに学び、愚かな歯医者者は成功経験に学ぶ

これは、ドイツ統一を果たしドイツ帝国初代帝国宰相となったオットーフォンビスマルクの「賢者は歴史に学び、愚かな者は経験に学ぶ」という言葉から私の脳裏に浮かんだ歯科界に対する言葉です。

私たち歯科医師は「難しい症例だ」と思つて治療を開始しても、思いのほか簡単に治ったり短時間で治つてしまふ経験があります。この様な症例は、素晴らしい成功の経験として私たちの記憶に深く残り、以後に出会う難しい症例にも同じような治療結果を期待します。しかし、この成功を生み出した要因を分析していなければ、以後の治療で同じ成

ひるま矯正歯科の歯列矯正相談室

ひるま矯正歯科ホームページの質問コーナーに寄せられた投稿と回答をテーマごとに編集して紹介します

Q 6歳まで指しゃぶりをしていた8歳女児。小児歯科で開咬と診断されました。矯正治療が必要ですか?

A 開咬とは、伸びようとしていた前歯が何かに伸びる

阻害されて止まっているという状態ですから、原因が指しゃぶりであれば止めれば歯は自然に伸びて元々の噛み合わせになるはず。指しゃぶりは「親指の腹を上顎にあて、人差し指が鼻の穴を上押し上げるようにして吸う」タイプが多

も多く、この癖が長く執拗に続くと親指の力が上顎に矯正力として作用するため上顎を上前方に引き上げ、上の前歯は前傾、開咬をともなう出っ歯を作り出します。この場合、上の歯列がU字型(正常)ではなくV字型になって突出します。一方、下の前歯は親指の背の力が内側へ押し込む力となり歯列が狭窄、前歯にデコボコが発生します。

指しゃぶりを止めたあと、この指しゃぶりでできた開咬部に舌を突き出す癖(舌突出癖)がついていると、舌が指しゃぶりの代わりに歯の伸びを妨げ、前述のような症状となることが多く、この場合自然治癒は難しく矯正治療が必要になります。



先生に聞きにくいことや聞くほどではないけど心配なことなど、どんなに小さなことでも気軽に質問できる身近な存在でありたいという千田幸恵さん。写真を撮ってやさしく穏やかに説明します。

今回から松原先生が連載する「from データ」は、ひるま矯正歯科が賢い歯医者になるためのデータに対する考え方を皆さんにも理解していただくための企画です。ぜひお読みください!